

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市保健問題対策協議会
2 開催日時	平成31年2月12日(火) 午後1時30分から
3 開催場所	河内長野市立休日急病診療所 2階 大会議室
4 会議の概要	(1) 平成30年度河内長野市保健事業実施状況について (2) 平成31年度河内長野市保健事業計画(案)について (3) その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 保健福祉部健康推進課 (内線 146)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

平成30年度河内長野市保健問題対策協議会議事録

日時 平成31年2月12日（火）午後1時30分～午後2時30分

場所 河内長野市立休日急病診療所 2階会議室

- 議案 (1) 平成30年度河内長野市保健事業実施状況について
(2) 平成31年度河内長野市保健事業計画（案）について
(3) その他

開始の言葉

委員の紹介

事務局の紹介

会議成立の報告 16名中15名

◆議案（1）平成30年度河内長野市保健事業実施状況について

事務局より報告

質疑応答

（議長）

事務局から平成30年度の保健事業実施状況について報告がございました。このことに関してご意見ご質問ございませんでしょうか。どなたでもございませんか。

（泉谷委員）

ちょっと質問があるんですが、18ページの予防接種実施一覧表の中について、H29とH30の接種者数を比較しますと大まかにだいたいみんな減少しているが、当然少子化の影響だと考えるが、成人用の風しん助成制度というのがありますが、これがかなり2倍くらい29年度と30年度は増えているんですが、このへんは30年度に限ったことなんでしょうか。この時なんでこのように増えたのか。112人が普通なのか。

（事務局）

ただ今の質問にお答えさせていただきます。成人用の麻しん風しんにつきましては特に昨年が少ない訳ではなく、今年度が数が非常に多くなっているということです。考えられる要因としましては、報道等でご存知かと思うんですが、東京とか大阪でもそうなんですけれども、風しんが非常に流行しているということで、その関係もあって関心が高く、接種される方が増えているということを想定しています。また31年度事業のところの説明させていただくんですけれども、新たに風しんの対策というのも国の方で進めるということになっておりますので、その影響かと考えております。以上です。

（議長）

よろしいでしょうか。他にご質問はございませんでしょうか。

(藤田委員)

4ページの歯周疾患検診、我々関係するところなんですけれども、40歳、50歳、60歳、70歳と10年刻みで歯周疾患検診を実施しておりますけれども、近隣の市町村と比べると受診者の率は良いんですけれども、これをもうちょっと上げるためにできれば5歳刻みにしていただくと、もう少し受診率も上がるのではないかと思います。今年たとえば40歳の方が受けると次は10年後にしかこれを受けられないということになりますので、その間が長すぎるんじゃないかと思います。次年度の31年度の計画案を見てもやっぱり10年単位でやっているの、できれば5年刻みでこれをやっていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。予算のこともあると思うのですが。

(事務局)

今の質問にお答えさせていただきます。去年までは80歳の方まで実施していたものを、今年度から70歳までを対象に実施しています。国の方針で10歳刻みの年齢で実施することになっておりますので、それに合わせて実施しています。もし、5歳刻みにしたら受診率がというお話でしたが、5歳刻みにした場合対象者数も同じく増えるため、一概に受診率が上がるかどうかというのは難しいところはあると感じています。委員のご意見として今後参考にさせていただきたいと思いますのでご理解ください。

(議長)

ご自身の関係するところ等で質問はございませんか。そしたら私からもう1名、大阪南医療センターの院長どうでしょうか。ご質問ございませんでしょうか。

(齊藤委員)

がん検診全体にもうちょっと率を上げていかないといけないかなと思います。確かに肺がんとかは増えているものもあるが。各市町村ご努力をされているのは承知しているが、何か良い方法を考えて。

(議長)

事務局の方で、肺がんは少し上がっているが他は少しずつ下がっているという傾向について、何が原因か情報は持っているか。

(事務局)

原因の分析がはっきりとはなかなか難しいところがあり、原因を把握できていないというのが実際です。数年の傾向を見ますと、若干徐々に下がってきているという状況ですので、今後もまた受診勧奨の方法ですとか効果的なPR方法であるとか検討しながら、勧奨と啓発に努めていきたいと考えております。

(議長)

他にご意見はございませんか。

(事務局)

先ほど、山本委員の方から質問票をいただきましたので、それについてお答えさせていただきます。「乳幼児の定期健康診査で1歳7か月健診後、経過観察者が対象者の半数になっていますが、どんな状態が多いのでしょうか。内容の比率は。」というご質問をいただきましたのでお答えいたします。

1歳7か月健診では、身体面の確認と対人面や言葉の発達ということを医師の先生に診ていただいているのですが、経過観察になる比率としましては、身体面が大体14%、残りの86%なのですが、言葉の発達というところで、まだ個人差がありますもので、この時点で遅いというのは確定できないのですが、きめ細やかに支援していくということで、言葉がまだ少し出ていないというお子さんには次の健診の2歳6か月の歯科健診の時にちょっとお話を聞かせてもらいますね、とか、もう少し早めに2歳の時に電話させてもらいますね、という形で言葉の発達を確認させていただくというお子さんが多いので、その方が86%ほどで、その後フォローしております。

(山本委員)

1歳7か月の時に言葉のあれが多いんですけども、言われたお母さんから相談を受けるんですけども、その時に保健師さんから特別なところに行った方が良いのではないかということ、先に保健師さんから言われてショックを受けられて、私は自分の子育ての経験からそれはまだ早いですよ気にしないでもう少し2歳、3歳まで見た方が良いでしょうよって言うんですけども、そういうふうにもっとおっしゃることはあるのでしょうか。

(事務局)

そのご相談の方は療育っていう意味ですかね。療育をご紹介って、直接療育っていう風に1歳7か月健診の時になかなかいかないんですけども、子ども子育て課がやっているジャンプ教室とか、そういった親とお子さんで色々な発達を促すような教室はいかがですか、という形でお勧めする方っていうのはいらっしゃる。1歳7か月健診の時でも心理相談員の先生がいらっしゃって、その時に発達相談を受けていただいたりするんですけども、そのお子さんは早めにそういう教室に行かれた方がお子さんにとって良いんじゃないかというアドバイスがあった場合にお母さんたちにとっては厳しいんじゃないかと思うことがあって、直接ストレートにならないよう気を付けているところではあるが、あまり遠回しに言い過ぎるとお母さんたちに伝わらない時がありまして、個人差があることなので心配させてしまうこともあるが、なるべくこれからもお母さんの気持ちに寄り添って気を付けて説明したいと思っています。

(議長)

議案1についてはこれで終わりにしたいと思います。

◆議案（２）平成３１年度河内長野市保健事業計画（案）について

事務局より報告

質疑応答

（泉谷委員）

先ほど私が質問したことと繋がっているんですが、成人用の風しん予防接種事業、全然中身は変化しない？抗体検査をしようとする意見が出てきたと聞いているんですが、それについてはどうでしょうか。

（事務局）

ただ今の質問にお答えいたします。妊娠を希望される女性、または妊娠を希望される女性の配偶者、妊娠をしている女性の配偶者、の費用助成につきましては今年度と変わらず実施する予定でございます。ただ、今医師会様にご協議をお願いしている事項は、新たな男性の風しんの抗体検査を実施するということがありますので、それに合わせた形で今までの妊娠を希望される方についても風しんの抗体検査を受けていただいた上で、実施をできないかということで医師会様にはご協議をお願いしているところであります。ですので、そこはまだ決定事項ではないんですが、そういう状況です。

（泉谷委員）

意見ですけれども、サービスの低下にならないように、接種率の低下にならないようなことをお願いしたい。他市町村では確かに抗体検査を条件として接種しているということを知っているんですが、河内長野市は抗体検査を条件にしないで希望する人には助成制度を利用できるようになっている。接種率が良い状態が続いておりますので、それを継続してやっていただければなというのが現時点での意見です。

（事務局）

今ご意見いただいたことを踏まえて、医師会様の方でご協議いただき、またご意見ちょうだいしたいと思います。

（泉谷委員）

ややこしいんですね。若い成年の男女を対象にした制度と中高年の男子を対象とした制度の両方が併存していると、平成３１年度から。その部分の住民の人への連絡とかその辺のことを十分やらないとむちゃくちゃになってしまうかも知れない。

（議長）

おっしゃるとおり、同じ同一人がどちらの方で受けるのかということもありますので、その辺の交通整理よろしくお願いします。文面によっては男性のみかなと思ってしまうこともありますので、女性も妊婦さんの関係として今まで通りやりますよということを大きくアピールしないといけない。

(事務局)

また4月に年間事業案内というものを作成予定をしております、そちらの中でも今までの妊娠を希望している女性等向けの事業と新たなこの事業とを分けてわかりやすく掲載して、周知・啓発に努めたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

(森川委員)

高齢者肺炎の経過措置が5年間延長されるというのは国からのものだと思うんですけど、この5歳刻み以外の年齢帯は市が独自の事業でしていただいたかと思うんですが、それもそのまま5年間延長という形でよろしいでしょうか。

(事務局)

66歳、67歳といった年齢の方につきましても従来より市独自の予算で費用の一部助成をさせていただいております、こちらの方も来年度以降も予定させていただいております。

(議長)

こちらの方も周知徹底よろしくお願いします。

(吉村委員)

質問ではないんですが、こういった色んな取組みしていただいてありがとうございます。ただ、先程実施状況の報告ありましたけれども、29年度より30年度へ減っている要因の一つにやはりPR不足があると思う。たとえば河内長野市健康の日の取組みというものも市民全体に伝わっているのかと考えるとなかなか伝わっていないという状況もある。市の広報なんかも積極的に使っていただいて、市民の健康を守る立場で色んな取組みをする一つにPRを。せっかく良い取組みをしていただいているので、ぜひ皆さんに受けていただいて、河内長野は健康の都市やというようなPRを含めて取組みを進めていただいたらありがたいなど。議員の先生方も含めてお願いします。よろしくお願いします。

(駄場中委員)

おっしゃるとおりなので。ぜひ色んな健康診断も受けてもらって、元気で長生きしてもらえるような街づくりについていう議会の方でも発言したいという風に思います。

(議長)

これで議案2は終了します。承認いただくということでご異議ございませんでしょうか。

(委員)

異議なし。

◆議案（3） その他

事務局より特になし

質疑応答

（吉村委員）

これはお聞きしたいんですけども、私南花台に住んでるんですけども、医療の取り組み学習会13回目やってるんですけども、保健所の方からのPRも兼ねてそういうことをお願いした場合に来ていただけるのか、「お願いしたけど無理やったんや」ということを小耳にはさんだので、これが事実かどうかということも含めて、今後とも市民へのPRという点でそういうことをお願いした場合に積極的に取り組んでいただけるのかということをお聞きしたい。先日も医療センターのアワダ先生にお越しいただいて、11月に、色々な先生に来ていただいて、地域の人たちが大体70名～100名くらい健康に関心を持ちやっていたというところが一つと、もう一つは、今日も私社協の会長させていただいてるんですけども、朝から避難者生活に役立つ知識ということで、赤十字の方来ていただいて、今も講演していただいている最中なんですけれども、御存じのとおり、29年30年台風21号この河内長野含めて北部地震とか災害が非常に多発しているのが現状ではないかなと思います。そういう時にやはり医療関係、社協とか介護とかそういう人たちが何かあった時にすぐ活動に参加できるような組織を河内長野市としても考えていかなければならない時期にきていると思う。そういう時に保健センターとしての役割があるのかなと思うので、これも一応検討していただいて、できましたら今日お集まりいただきました先生方と一緒に色々な形で協力できる体制づくりを進めていけたらというのが私の想いですので、また時期がきましたら医師会の方とも一緒にできるような場を設けていただけたらと思います。

（議長）

学習会の際に講師派遣をとということでしたので先生方もよろしくお願ひします。それからもう一つ災害に関しての取り組みですけども、保健所の先生もおられますので、その辺もご協力お願ひします。避難所生活の対策なんかは我々よりも市民の協力ができないことですがよろしくお願ひします。

（駄場中委員）

今さっきの災害のことなんですけど、今南河内医療圏域で災害拠点病院が近大病院になっていると思うんですけど、今後その災害拠点病院がどうなっていくかというのは事務局の方で情報入っているんでしょうか。

（事務局）

駄場中委員がおっしゃるように南河内医療圏域における災害拠点病院は近大病院でございました。堺市の圏域の方へ移転するという話ご承知のことかと思ひます。災害拠点病院は向こうへ行っても機能を果たされると聞いておりますが、やはり圏域の中に必要性は十

分感じております。ただ、なかなか行政だけでは処理できないところがございますので、保健所さんとも相談しながら南河内圏域の中で担っていただける病院があるようであればまた協議ご相談していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

河内長野市だけの災害拠点病院ではございませんので、南河内圏域の中での災害拠点病院の位置づけだったかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(議長)

災害だけではなくて、救急の方も3次救急が向こうの方へ移転することに関してどうやって対応したら良いかというのは我々本当に考えなければならないことですので、またご報告させていただけたらと思います。

(山田委員)

意見ではないのですが、肺炎の予防はまた5年間延びたということで、高齢者にとっては非常にありがたいことだと思うので是非よろしくお願いいたします。

(議長)

肺炎の死亡率が大きなウエイトを占めているのでよろしくお願いいたします。

では、予定していた議案は全て終了いたしました。改めて長時間に渡りありがとうございました。最後の市の方から挨拶をいただきまして会議を終わりたいと思います。

部長あいさつ

(洞瀨部長)

本日はありがとうございました。いただきました意見ですね、市の施策に反映することを検討して参りたいと思います。

こういう挨拶でしたら、みなさん当市の場合人口減少続いておりますよとか高齢化率高いですよとか言ってるんですけども、実は1月末で人口15,816人、高齢者の数が35,647人、33.7%という高齢化率になりました。今後もこのような傾向が続いていくと思います。この中で、我々保健福祉部といたしましてはですね、健康寿命の延伸ですとか、市民の皆様の健康保持増進に努めて参りたいと、母子保健事業によりまして、妊産婦・乳幼児の支援に取り組んで参りたいと思っております。これらの取り組みには、市のみならず、今日ご参加いただいている委員のみなさまのご指導ご協力が必要でございますので、今後もみなさまのお力添えをいただきたいと思っておりますし、先程の31年度事業につきましては、31年度予算が可決・御承認いただいてからということになりますので、先生方をお願い申し上げまして、会議の終わりに際しましてあいさつとさせていただきます。

閉会